

◎ ペレット関連情報

■ユーロストーブ（〔有〕河西）（神奈川）、イタリア・テルモロッシ製ペレットストーブ「エコサーモ」シリーズの代理店・販売店情報をまとめ、ホームページで紹介。「エコサーモフレズ・静岡県」の（株）アイワ（静岡）では、テルモロッシの最新モデル、「モナムール・レッド」を実演展示中とのこと【ユーロストーブ（〔有〕河西）：2016/11/18】

<http://www.pellet-stove.jp/>

■岐阜県高山市内にある温泉施設「四十八滝温泉しぶきの湯遊湯館」、ドイツのブルクハルト社が開発・販売するガス化熱電併給システム導入へ。発電設備の設計・施工は（株）洗陽電機（兵庫）が担当。燃料の木質ペレットは高山市を中心に地元産の「飛騨高山ペレット」を販売する木質燃料（株）（岐阜）が供給。発電能力は165kWで126万kWh/年の電力が供給可能。このうち120万kWhをFITで中部電力（株）（愛知）に売電。さらに発電に伴う排熱で温水を作り、館内の温浴施設に供給する。市内の企業や個人が2015年10月に設立した「飛騨高山グリーンヒート合同会社」が中心になって運営する。総事業費は約2億円。2,200万円を岐阜県の「木質バイオマス利用施設導入促進事業」の補助金でまかない、地元の金融機関から融資も受ける。2016年11月中に着工し、2017年3月運開予定【岐阜新聞：2016/11/23、スマートジャパン：2016/12/01】

http://www.gifu-np.co.jp/news/kennai/20161123/201611230921_28485.shtml

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1612/01/news040.html>

■徳島県東部の木材販売を振興する神山里山資源協同組合、同県神山町産の杉や松の端材を利用した「神山ペレット」を開発。同県佐那河内村で家業の電気製品店を営んでいる、協同組合の桑原健一理事長が、2013年頃からペレットストーブに着目。他県からペレットを購入していたが協同組合のメンバーと協力して今年4月に地元産木質ペレット作りを開始。屋内で粉末を薄く広げて乾かし含水率を15%まで下げ、さらに薪ストーブで熱風を当てる製造方法を発案し、含水率を7%台に抑えた「神山ペレット」を開発した。神山ペレットは桑原さんが経営する桑原電気で販売中【毎日新聞：2016/11/29】

<http://mainichi.jp/articles/20161129/dtl/k39/040/582000c>

■富士総業（株）（静岡）、環境省実施の今季使用予定分の木質ペレット入札で一番札。同

社の富士山ペレットを利用する環境省施設は、関東事務所が管掌する田貫湖ふれあい自然塾（静岡県富士宮市）。同塾には床暖房システムの主機器である木質ペレット焚きボイラ（金子農機製）が導入されている。同社の環境省関東事務所でのペレット発注落札は3回目【OSR No.251：2016/12/02】

■タイの Wood Pellet Siam Company Limited、（一財）日本ガス機器検査協会（JIA）の FIT 対象木質バイオマス証明の認定取得。同社はゴムの木で作られる家具工場の副産物を原料とするペレット（Rubberwood Pellets）の日本向け供給に取り組んでいる。JIA の認定は同社の原料調達から供給に至るサプライチェーンに対し行われたもの。認定日は2016年8月24日。この部門での海外勢の JIA 認定は初【OSR NO.255：2016/12/07、（一財）日本ガス機器検査協会：2016年】

<http://www.jia-page.or.jp/environment/biomass/directory/JIA16-007.html>

■青森県八戸市、平成25～27年度に同市の補助金の交付を受けて木質ペレットストーブを設置した人へのアンケート調査を実施。導入のきっかけや、設置後の感想（抜粋）についてホームページに掲載【同市：2016年】

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/9.76649.65.157.html>

※ OSR・・・オンサイト・レポートの略